

輝け！シン尾花沢中

気高く晴れた 月の峰 雲間にそそる 鳥海の

北村山中学校総合体育大会の御礼と部活動に対するお願い

6月14日(土)・15日(金)に行われた北村山中学校総合体育大会では、女子バレーボール部が優勝し、陸上競技部も個人で多数の入賞者を出しました。残念ながら結果を出せなかった部についても、精一杯頑張ったことを耳にしています。これも、保護者の皆様のご支援・ご協力があったことです。大変恐縮ですが紙面にて御礼させていただきます。ありがとうございました。

さて、学校部活動は約70年も続いてきており、生徒の健全育成に大きな成果を上げてきました。しかし、その一方でさまざまな課題を抱えていました。その課題を解決し、持続可能な体制を整備するために行われているのが「部活動改革」です。

令和6年12月25日に、スポーツ庁、文化庁、文部科学省の連名で「部活動改革に伴う学習指導要領解説の一部改訂について」という通知が出ており、「部活動改革」に伴う学習指導要領の見直しが次のように示されています。

見直しの趣旨 ▲学校と地域クラブとの連携、平日と休日の活動の指導方針等の連携が課題

→現行の部活動ガイドラインの記載をベースにした連携を推進

見直しの概要 ・部活動は、法令上の義務として実施されるものではないことから学校の判断により実施しないこともあり、また、全ての生徒が一律に加入しなければならないものではなく、生徒の自主的・自発的な参加により行われるもの

学校における部活動は学校教育の一環ですので、あくまで学校教育目標の実現に向けてなされなければなりません。本校であれば校訓「誠実」「学習」「活力」の目指す生徒像をねらいとして行われることとなります。次の3点の方針を確認させていただきます。

部活動は

- ①部活動ガイドラインに基づいて行われるものであること
- ②生徒の自主的・自発的な参加により行われるものであること
- ③本校の目指す生徒像の実現に向けて行われるものであること

勝ち負けや順位にこだわることは当然であると思われます。しかし、そこにこだわるあまり、先の3点の方針が軽視されては、学校教育の土台が崩れていくことにつながりかねません。

よく課題としてあげられるのが「平日2時間程度、休日3時間程度」の内容です。これは、生徒の心身の健康を守るために設定されたものです。休日の過度な活動による疲れから、学校を欠席してしまったり、授業中に居眠りしてしまったりしては、本末転倒と言わざるを得ません。

本校では「礼儀正しい」「何事にもまじめな」「他人の心の痛みが分かる」「他人の役に立つことに喜びを感じる」生徒を、部活動においても目指すこととなります。

今後も、学校における部活動は続きます。シン尾花沢中の部活動が生徒の健全な育成のための活動となるよう、努めてまいります。

保護者の皆様のご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。【文責：校長 工藤雅史】